




いぶき 第93号
 発行者 吉野 公博
 編集 患者サービス向上委員会
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号
 TEL (0877)23-3111
 FAX (0877)24-1147
 季刊誌 年4回発行
<https://www.kagawah.johas.go.jp>

お腹に傷がつかない 腹腔鏡手術(vNOTES)の導入

産婦人科部長心得 清時 毅典



子宮全摘出術は、女性の健康に関わる重要な手術の一つです。この手術は、子宮筋腫や子宮腺筋症に対して行われる手術であり、子宮自体はホルモンを分泌しないため、子宮を摘出して卵巣を温存すればホルモン状態は変わりません。近年、手術の技術が進歩し、その中でvNOTESと呼ばれる最新の方法が注目されています。当院でも、2023年12月より香川県内で初めてvNOTESを導入し、積極的にこの手術を行っています。

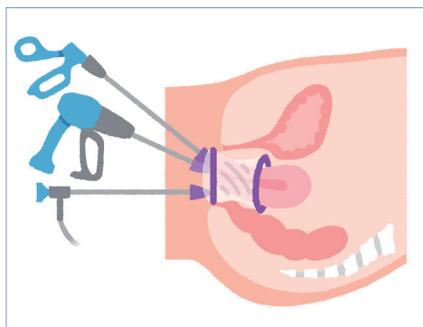
字通り「自然な開口部を通じた内視鏡手術」を意味します。婦人科領域では、膣(vagina)を介して内視鏡を挿入し子宮摘出を行うことができ、腹部に大きな切開をする必要がなくなるのが特徴です。従来の子宮全摘出術では、腹部に大きな傷が残る開腹手術や、臍部や下腹部を小切開して内視鏡を挿入し手術を行う腹腔鏡手術が一般的でした。しかし、vNOTESを用いることで、膣の自然な開口部を利用するため、外部から見えない範囲で手術を行うことが可能になります。これにより、患者さんの回復期間が短縮され、美容的な観点からも利点があり、患者さんの精神的な負担も軽減されるとされています。

次に、膣を通じて内視鏡を挿入し、子宮や卵巣を（必要があれば卵巣も）取り除きます。子宮の摘出が終了した後、内視鏡を取り除き、膣を縫合して手術を完了します。この全ての過程は膣を通じて行われるため、腹部に傷が残ることはありません。

vNOTESを用いた子宮全摘出術の主な利点には、以下の点が挙げられます。

- ①美容的な利点…腹部に大きな傷跡が残らないため、手術後の美容面での影響が少ない。
- ②回復期間の短縮…従来の方法よりも痛みも少なく回復が早く、入院期間が短縮されることが多い。
- ③合併症のリスク低減…腹部切開に伴う合併症のリスクが減少する可能性があり、安全性が高まる。

ただし、vNOTESにはいくつかの注意点もあります。例えば、重度の癒着症例には行えない、経膣分娩歴の無い症例には行うのが難しい場合がある、等です。その場合は通常の腹腔鏡手術や開腹手術となる場合もございますので、具体的な手術方法については主治医とご相談いただけますと幸いです。



総括すると、vNOTESを用いた子宮全摘出術は技術革新により可能になった新しい選択肢であり、患者さんの視点からも利点が多い手術方法です。当科では今後も患者さんのために、できるだけ低侵襲な治療を目指していきます。月経痛や不正出血、その他婦人科的な症状でお困りのことがあれば、いつでも受診してください。

香川労災病院の理念

働く人々や地域の人々に
安全で安心のよりよい
医療と看護を提供します

看護の日

看護副部長 宮本 紀子

5月12日は、近代看護を築いたフロレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ「看護の日」とされており、その日を含む日曜日から土曜日を「看護週間」として様々なイベントが開催されました。5月13日、当院へ「看護の日」のキャラクター「かんごちゃん」と(公社)日本看護協会のラッピング

グバスがやってきました。このラッピングバスは2021年に導入された全国3台中の1台で、初めて香川県内を走りました。またバスには全国各地と都道府県の特徴にアレンジした「かんごちゃん」が描かれており、香川県は弘法大師空海に变身しています。当院では、看護師より入



院患者の皆様一人一人へ看護の心を込めたメッセージカードをお渡しさせていただきました。また、1階には各部署紹介として看護の魅力やチームの力、多職種での支援体制などを紹介しました。このイベントを通して、看護の心と魅力が伝わり、関心が高まることを願っています。

元気なうちから始めよう！「フレイル予防」

皮膚・排泄ケア特定認定看護師 松永 希

「おっくうだな」と感じて、外出の回数が減ったり、「食欲がないから」といって食事を抜いたりすることは、ありませんか？このようなことが原因で、筋力やバランスを保つ力が低下し、転倒しやすくなります。また、人との交流や会話が減ったり、日々刺激の少ない生活をしたりと、認知症につながると思われる症状がみられます。これらはフレイル(体や心の機能低下)のサインの一つです。当院では、フレイル予防に取り組む環境づくりのため、「フレイル予防教室」を毎月第3木曜日に開催しています。フレイル予防におすすめの体操と一緒に始めてみませんか？皆様のお越しをお待ちしております。

開催日	内容	講師
7月18日(木)	いきいき「脳トレーニング」	認知症看護特定認定看護師 吉川 明美
9月19日(木)	今すぐはじめられる「失禁トレーニング」	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 松永 希
10月17日(木)	座って行う「体幹トレーニング」	皮膚・排泄ケア特定認定看護師 本村 香代子
11月21日(木)	楽しく、おいしく食べるための準備体操！	摂食・嚥下障害看護特定認定看護師 直原 裕子

開催場所：2階 情報コーナー
時間：12時～15分程度
予約は不要です。どなたでもご参加できます。

連載 3

中津万象園を未来につなぐ

文化財を守るとはどういうことか

―地域との係わりついて―

公益財団法人中津万象園保勝会 評議員

真鍋有紀子

『中津万象園を未来につなぐ』というテーマで、丸亀市指定名勝の大名庭園をご紹介します3回目は、(3)地域との係わりについてです。

さて、先日、丸亀城延寿閣別館での城泊の情報が開されましたね。天守閣のバウタイムなど、歴史的建物ならではの体験が用意されていますが、2日目の舞台は、中津万象園となっています。朝食を茶席母屋でお楽しみいただき、うちわ作り体験を松帆亭で。そして、煎茶体験を観潮楼で

行うことになっているのです。

「城泊で、大名庭園である中津万象園が舞台になるのは当たり前では？」と思われるかもしれませんが、以前は夢のまた夢でした。「中津万象園は民間の施設だから」という考えも根強く、公民連携して何かをするということとは、難しかったのです。

そのような状況から、今のようによくの方と手を取り合って運営ができる状態となるまでには、様々な道のりがありました。

○財団法人の設立

昭和57年の一般公開以来、当園は母体企業の一事業部として運営されてきました。その理由は、「入場料収入だけでは運営ができません」から。

しかし、このままでは本当の意味での『市民の宝』としての庭園にはなれないと、財団法人化を決意。平成10年に設立することができました。

○メセナアワード受賞

財団は設立したものの、なかなか事業の公益性、意義を地域に広めることができず、支援の輪も広がらない。―そのような時、ベネッセコーポレーション等と共に、平成18年のメセナアワードを受賞します(公社企業メセナ協議会主催・文化庁後援)。

それをきっかけに丸亀市商工会議所より表彰を受け、いわば初めて地域より公益性を認められることとなりました。

同時に、当園についての

価値の再発見の必要性にも気づきます。そこで、福祉文化振興財団の助成の元、調査研究を行い、『中津万象園について語れること』を少しずつ増やしていきま

した。



○公益財団法人へ移行

平成24年、公益法人制度改革に伴い、公益財団法人へ移行。丸亀市より、固定資産税の免除、年額五百万円の補助も実現しました。(丸亀市民入場料半額制度も開始)

また、園内にある江戸期の茶亭二亭の調査を行い、市指定の文化財として、耐

震を含む修復を実施することができました。

令和4年には『うちわの港ミュージアム』が中津万象園に移転。丸亀の観光の拠点としてさらに存在感を増すことができます。

このように、少しずつ地域とのつながりや結びつきを増やしてきた当園ですが、全国的には、企業所有の庭園は、むしろ迎賓館的な使われ方をする方が多いかもしれません。たとえば、京セラには、大正時代に作られた和輪庵という素晴らしい庭園があります。



このお庭に出会ったのは約15年前。初めて訪れた、

真鍋有紀子氏プロフィール



富士建設(株)代表取締役、公益財団法人中津万象園保勝会評議員。中津万象園の価値や歴史、維持保全活動の意義について皆様にお伝えすることで、この場所がより地域に愛されるようになればと願っています。

隅々まで手入れされた和輪庵の様子は、私を絶望させました。「中津万象園にあって、私たちに守られたことは幸せだったのだろうか？」—そんな想いが過ったのです。

これまで私たちは、中津万象園というお庭を守ってきたつもりでした。でも、どこか他の企業だったなら、もっと美しくあり得たかもしれない。うちのお庭さん(庭師)は本当によくしてくれているけれど、私たちの力には限界があつて、十分な手を構えることはできない。

和輪庵は企業の迎賓館です。地域に開かれてはいません。一方で、当園は地元作家の作品展を開催したり、子ども写生大会や、野外映画上映会など、毎年多くの市民が参加する風物詩も生まれており、地域に根付こうとしています。

この経験は私にとって衝撃的な出来事でした。そして同時に、今、私たちは何をすべきかをつくづくと考えさせられました。私たちは民間ならではの小回りを生かして、「どんな楽しみ方を提案すればこの庭に市民の皆様が訪れてくれるのか、誇りに思ってもらえる

のか」について、真摯に追及しなければならぬと感じたのです。



今、中津万象園では、官民協力し、持続的な文化遺産の維持保全モデルを確立すべく、活動を続けています。その成果として、地元企業や200名余りの個人の方が賛助会員として名を連ねており、企業研修や冠婚葬祭の節目の場としても市民から広く親しまれ利用されています。

その延長線上に、お庭の目指すべき未来が必ずあると信じていますが、支えてくださる皆さまと共に、未来をどう創って行くのか。

次回は、それについてお話ししたいと思います。

部署紹介「医療安全管理室」

医療安全管理者 高木 康美

私たちの部署は、病院の理念でもある「安全で安心のよりよい医療と看護の提供」を目指し、医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、臨床工学技士、リハビリテーション技師、事務員、セキュリティマネージャー(警察OB)といった多職種のメンバーが一緒に活動しています。その活動は病院内の各部門や委員会などと連携し、患者さんに安全な医療を提供することを目的としています。

具体的には毎週1回カンファレンスを行い、職員から報告のあったヒヤリハット報告書の分析や対策の提案、マニュアルの見直しを行っていきます。

安全な医療を提供するためには、患者さん、ご家族の参画が欠かせません。来院される皆さんと医療者がパートナーとして信頼関係を築いていきたいと考えています。



ボランティアさん大募集

当院ではボランティアさんを大募集中です。患者さんのスムーズな受診のサポートや、ほっとするお声がけなどのお手伝いをお願いしています。

ご興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。ご連絡をお待ちしております。

【連絡先】

香川労災病院 総務課

Tel: 0877-2313111

編集だより

患者サービス向上委員 久保 和那栄

皆様、今月号の広報誌「いぶき」もお楽しみいただけましたでしょうか？香川労災病院のスタッフ一同、日々の診療や治療に加え、地域の皆様とのつながりを大切にしており、その架け橋となることを願っております。ご意見やご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。皆様の声を参考に、より充実した内容をお届けできるよう努めてまいります。これからも香川労災病院をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

